

家庭 科 2 年		家庭基礎		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	家庭基礎	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	家庭基礎ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社	第一学習社
副教材	LIFE おとなガイド (教育図書)				

1 学習の到達目標

- ① 各ライフステージの特徴と課題を理解し、生涯を見通した生き方を考えられるようになる。
- ② 家族・家庭の機能、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。
- ③ 生活に必要なお金にはどのようなものがあるか理解し、将来を見通した家計管理ができるようになる。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の内容	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習課題の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントへの取り組み ・定期考査 ・学習活動への姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への姿勢 ・提出課題の完成度 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査

②成績評価の方法

①の評価の方法によって、学年末に評定にまとめます。

評価の内容 定期考査 70% 平常点 (学習態度・小テスト・課題など) 30%

3 学習計画

月	学 習 単 元	主 な 学 習 内 容 と 到 達 目 標	時間数
4	・ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらい、授業の概要、評価方法(単位認定)を理解する。 ・「家庭基礎」を学ぶ意義を理解する。 	1
5	1章 これからの生き方と家族 1節 青年期を生きる <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい人生 ・青年期の課題 ・男女平等と相互の協力 2節 家族・家庭と社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期に果たすべき発達課題について理解する。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解する。 ・家庭生活を支える労働の特徴を理解し、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 	10
6	5章 食べる 1節 人の一生と食事 2節 栄養と食事	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関心を持ち、食事バランスのよい食事摂取の重要性を理解する。 ・食生活を振り返り、食生活の変化や課題について知り、良い食生 	10

7	3 節 食生活の安全のために 【1 学期期末考査】	活の実践に役立てる。 ・栄養素の種類とはたらきを学習し、各栄養素を多く含む食品の特徴を理解する。	
9	5 章 食べる 4 節 食生活をデザインする	・日本人の食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすを理解し、バランスのとれた食生活ができるようになる。 ・4つの食品群による摂取量のめやすを理解する。	6
10	6 章 装う ・被服実習	・布を用いた生活の工夫を知る。 ・日本の伝統的な衣文化を知る。 ・布を用いた被服実習を通して、裁縫の基本技術を身につける。	5
11	2 章 次世代をはぐくむ 1 節 子どもの発達 2 節 親の役割 3 節 子育て支援と福祉	・子どもの育つ力と発達段階を理解する。 ・子どもを取りまく社会変化の現状について理解する。 ・児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。	6
12	3 章 充実した生涯へ 1 節 高齢期を生きる 2 節 高齢社会を支え合う 4 章 ともに生きる	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。 ・高齢者を支える制度と課題を考える。 ・社会保障制度の必要性とその仕組みについて認識し、それぞれの範囲について理解する。 ・ノーマライゼーションの実現のために必要な実践的な態度を身につける。	5 3
	【2 学期期末考査】		
1	7 章 住まう 1 節 人の一生と住まい 2 節 住生活の計画と選択	・住居の機能や間取りについて理解する。 ・住居の空間の構成を理解する。 ・住居を借りる際に必要な情報の収集や費用について理解する。	5
2	8 章 経済生活を営む 1 節 私たちの暮らしと経済 2 節 消費者問題を考える 3 節 持続可能な社会をめざして	・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージ全体を見通した家計管理をできるようにする。 ・家計から見えてくる社会の仕組みを理解する。 ・契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断をできるようにする。 ・大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	6
3	9 章 生活をデザインしよう 【学年末考査】	・自分の目指すライフスタイルを踏まえ、高校卒業後の生活設計を立てる。	3